



Vol.23

榎陶和の渡辺です。「ありがとう通信」を読んでいただきありがとうございます。

今回は小学校時代について書かせて頂きます。勉強はできなかったが、運動だけはピカイチで、運動会だけは私の思い出。答えはわからないが、皆が手を上げるので、私もつられて手を上げる。渡辺が珍しく手を上げているので、先生は無理して私を指名する。「手を上げましたが、わかりません。」と正直に解答する。それが仇となり、人と話すのが苦手で、話をすれば顔が赤くなり、人見知りと発展していった。京都時代の27歳まで人見知りで、東京へ出てきて自分の性格を変えた。現在は無駄話が長すぎて、得意先、仕入先、社員に迷惑をかけている。皆様すみません。小さな学校で運動場1周が50mを切る大きさ。50m、100m競争では後ろ見ながら余裕の1番でした。運動会では、両親の鼻が高く、ばら寿司と「にぬき」（東京では「ゆで卵」と言う）作ってくれていた。今でも時々「にぬき」と言ってビックリさせている。リレーでもアンカーで走り抜ける。ドッチボールや他のスポーツでも一番であった。現在は勉強方法が下手で要領が悪く、通知簿はダメだった。

(笑)京都市(区)の大会があり、鷹ヶ峰小学校はいつもビリで、校長先生もションボリと帰るらしい。私は6年生で大会に臨み、1周が200m走る。小学校の運動場は50mしかないのので、1ヶ月前から公道200mで練習をした。当日、先生のリレープランで私が一番手に走り大差をつけて、5番走者も早い人が走り、何とか10走者まで1位でバトンタッチ。他校は最後に優秀な走者だったため、一人抜かれ、二人抜かれ、ぎりぎり3位で走りきった。学校始まって以来の3位で校長先生からお褒めを頂いた。日本で始めて女性の校長で有名になった学校である。予断だが、テニスの伊達公子さんが卒業されています。卒業の時、友達全員が「野球選手になって有名になってください。」と書いてくれた。その昔、道路を舗装するのに砂利が山のように積んであった。砂利で遊んでいる時に中から50銭や1円が出てきた。今度は遊びをやめて砂利を掘り起こし、お金を見つけた。一日3円~5円を見つけた。また、鶯の高級餌でお金稼ぎ、鶯は草むらにいる「蜘蛛」が好物らしい。どこかのおじさんがやって来て1000匹5円で捕ってくれと誘われた。背中に蜘蛛入れ籐籠を背負い、網式団扇のような形をしたもので、足でがさがさすると網に蜘蛛が引っ掛かり背中の籠へはらうと落ちる。1匹2匹と勘定しながら1,000匹を捕り翌日5円を貰っていた。夏の相撲大会では、足腰が強く、組めば負け知らず。大会で優勝をすれば、お小遣いがもらえる。優勝決定戦で同じ小学生かと思えるぼっちゃり体系の強い人との戦い。近所のおじさんが土俵の後ろからダッシュしてぶつかれ、どちらが先に転ぶか勝負しろとのアドバイスをくれたおかげで勝ったのだった。便所は奥外にある。夜中「便」がしたくなる。お父ちゃんは「夜は忙しいので、朝参じます。」と教えてくれた。実行をしたが効かなかった。(笑)次回も読んでください。

とうわ
株式会社陶和
代表取締役
渡辺正道



〒183-0011 東京都府中市白糸台3-37-4
T:042-369-3131 F:042-369-3184 Email:w@kktowa.co.jp